

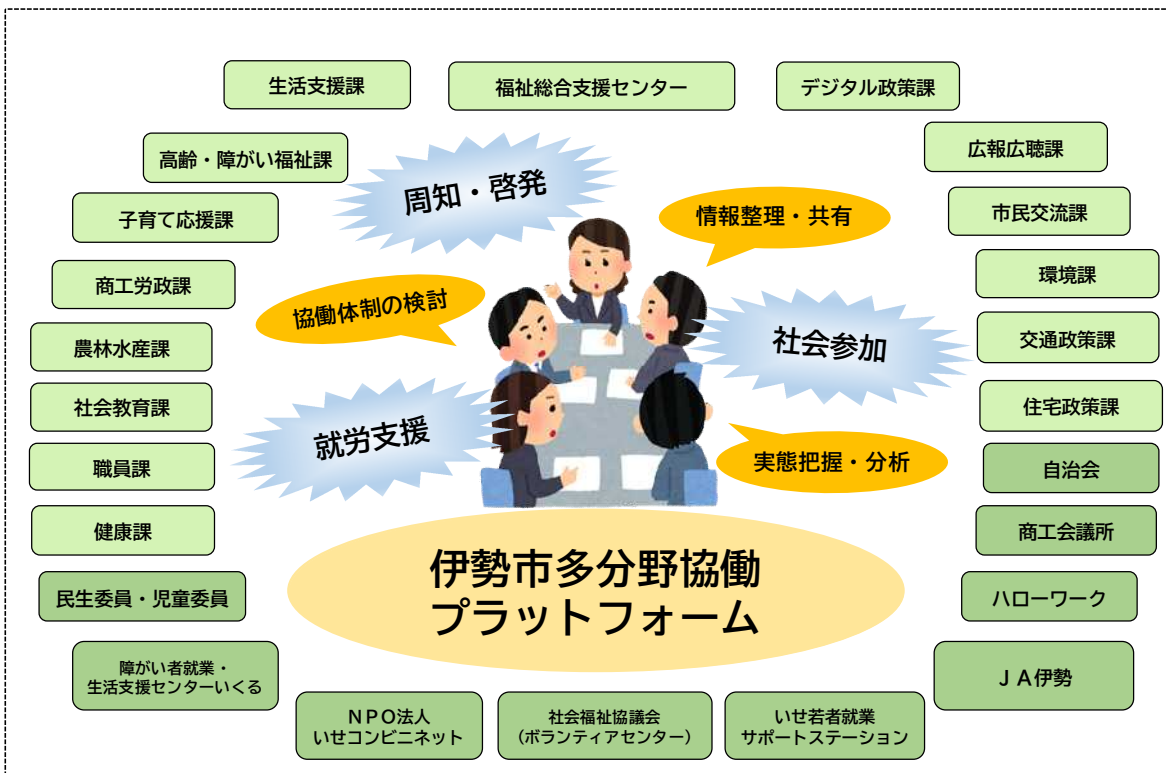
# 伊勢市多分野協働プラットフォーム（働きづらさを抱えた人への支援）の全体イメージ

長引くコロナ禍は、孤独・孤立の問題の顕在化、深刻化の原因の一つとなっています。今後、物価高騰の影響も加わり、生活困窮等で不安や悩みを抱える人、悩みが深刻化する人が増える恐れがあり、孤独・孤立に悩む人に対するきめ細かな対応の強化が喫緊の課題です。

支援を必要とする人に、迅速に支援を届けるためには、福祉分野だけに限らず、様々な関係機関と連携を深める必要があることから、国は「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」を実施し、伊勢市は令和4年度取組団体として採択されました。

この度「伊勢市多分野協働プラットフォーム」を設立し、福祉分野をはじめ、雇用、産業、農業等の幅広い分野と連携・協働しながら、孤独・孤立による「働きづらさを抱えた人」への様々な支援について継続的に検討していきます。

## 実態把握・分析、情報整理・共有、各課(機関)の連携・協働の検討



### 周知・啓発

- ・市民への周知（相談窓口・支援内容・協力企業紹介等）
- ・関係機関・企業への周知（周知啓発・協力依頼等）
- ※リスト作成、SNS等の充実、市・関係機関の取組発信など

### 社会参加

- ・気軽に集まることができる地域の居場所の充実
- ※居場所づくり、地域活動への参加、ボランティア参加など

### 就労支援

- ・一人ひとりに合わせたオーダーメイド支援
- ※職場見学、就労体験、中間的就労、超短時間雇用など



分野横断的な庁内外協働の新たな支援策の創出